

『高齢期難聴の支援』のための研修会

—耳鼻科領域で働く言語聴覚士の立場から—



難聴は高齢になるほど有病率が上がり、70代後半では約7割に認められます(内田ら2012)。難聴を放置すると、孤立やうつ、意欲の低下、認知症、死亡リスクが高まることが報告されているにもかかわらず、難聴があると自覚する高齢者の補聴器所有率は17.6%に留まり(JapanTrak2022)、適切な対応が急務です。

そこで本研修会では、日ごろ高齢者の医療・介護・福祉に関わる専門職の方々を対象に、高齢期難聴の特性と、その支援の実際を知っていただくための講義を行います。

<日時>

2024年3月17日(日) 午後2時～4時 (受付開始 午後1時30分)

<研修形式>

Zoomによるオンライン研修

<対象>

高齢者の医療・介護・福祉に従事する専門職、または関心のある専門職

<参加費>

無料

<内容>

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| ①開会の挨拶 | 神奈川県言語聴覚士会会長 金井絵美 |
| ②講義『高齢期難聴の特性』
休憩(5分) | おぎはら耳鼻咽喉科 言語聴覚士 鈴木恵子氏 |
| ③講義『高齢期難聴の支援の実際』 | おぎはら耳鼻咽喉科 言語聴覚士 井上理絵氏 |
| ④講義『介護予防と難聴の関連』 | 神奈川県言語聴覚士会職能局 清水宗平 |
| ⑤質疑応答 | |

<申し込み方法>

下記URLまたはQRコードから必要事項を入力し、お申込みください。

URL: <https://x.gd/g3pa5>

申込QRコード 問合せQRコード



<お問い合わせ>

神奈川県言語聴覚士会職能局 担当清水
お問い合わせフォーム: <https://x.gd/LcZ4M>

<共催>

神奈川県医師会在宅医療トレーニングセンター

